

予算決算委員会総括質疑通告一覧表

順	議席	氏名	発言事項（項目及び要旨）	答弁者
1	18	公明党奈良市議会議員団代表 森岡 弘之	1 財政について 2 新斎苑について 3 特殊勤務手当の改正について 4 浸水被害対策について	市長 市長 市長 市長
2	23	日本共産党奈良市議会議員団代表 井上 昌弘	1 消費税の地方税化について ①維新八策の中に消費税の地方税化と地方交付税の廃止が盛り込まれており、市長は本会議でこれに賛成した。自治体間の税収格差を広げ、住民には増税か住民サービスの切り下げのどちらかを迫るものであり、賛成すべきではない。 2 行財政改革について ①業務の民間委託が急速に進められようとしているが、法令遵守、目的の具体性、財源効果、低賃金労働者の拡大、中間搾取などの面で問題がある。何でも民間委託すればよいという問題ではない。 3 特殊勤務手当について ①見直しには賛成であるが、労働条件の大幅な変更を伴うものであり、これまで労使交渉で合意してきたものを下げる場合は、綿密な交渉と合意が何より必要だと考える。 4 保育行政について ①待機児童の解消について ②正規の保育士と臨時的保育士の格差是正について	市長 市長 市長 市長
3	27	政翔会代表 池田 慎久	1 平成23年度決算について ①平成23年度決算の検証を踏まえて、今後の市政運営について問う。	市長
4	20	民主党奈良市議会代表 内藤 智司	1 議案第109号 奈良市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について 2 議案第85号 平成24年度奈良市一般会計補正予算について ①市民課窓口業務一部民営化について	市長 市長
5	16	政友会代表 北 良晃	1 奈良市総合財団の運営について 2 公有財産に係る事務執行について 3 森林法の一部改正による本市の林業施策	市長 市長 市長
6	32	岡田佐代子	1 幼保一体化に向けての財源の一本化について ①現在子ども未来部が幼保を所管しているが、財源は二元化しており施設設備費や教材費など格差がある。幼保一体化には財源の一本化が必要である。 2 いじめ問題に関連した市としての取り組みについて ①いじめ問題を教育委員会に任せるだけでなく、子ども自身がSOSを発信し、それを受けとめる機関が必要である。	市長 市長

順	議席	氏名	発言事項(項目及び要旨)	答弁者
7	12	吉川 等子	<p>1 奈良市独自の雇用対策について</p> <p>①本市独自の雇用対策は見られず、国や県に依存するものに終始した。本市の少子化や人口減少を抑制するための具体的な雇用対策について。</p> <p>2 行財政改革と総合計画との関係について</p> <p>①行財政改革の内容は市民の負担を増加させるものが多く、かつ総合計画の「施策の展開」や「実施計画」に盛り込まれていないものがあまりにも多い。これでは何のための計画であったのかと疑問に感じるので、市長の総合計画に対する見解をお聞きします。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
8	3	天野 秀治	<p>1 特殊勤務手当改正後における行政コストについて</p> <p>①予算決算質疑において、特殊勤務手当改正後の行政コストについては、その増減についても答弁を得られなかったため、見解を求める。</p> <p>2 基金及び市債について</p> <p>①繰り替え運用している2つの基金について条例に定義された内容に沿わない運用を行っていることが明確となったが、今後の処理についての答弁が不明確であったため説明を求める。また枯渇寸前の針テラス事業基金及び市債償還目途について問う。</p> <p>3 事業・業務の総点検について</p> <p>①分科会質疑の中で不明点があったので、これを確認する。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
9	33	松石 聖一	<p>1 市長の政治姿勢</p> <p>①平成23年度決算に関して、市長は市の懸案事項に対し、誠実に取り組むことが出来たのか、その手法・姿勢を問う。</p>	市長
10	7	酒井 孝江	<p>1 市長の観光政策のビジョンについて</p> <p>①住民税が減少し、財政悪化の大きな原因となります。地場産業、特に観光への対策が必要です。観光は民間が主力です。民間団体にコンクールなどを開いては。</p> <p>2 女性の幹部職員を登用することについて</p> <p>①北欧など女性の議員や職員が半数を占める国では、毎日、保育園が国のどこかで新設されるなど、女性の視点で行政が変わる。女性部長ゼロの今こそ、人事制度改革を。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>